

全ての子どもたちが良質で多様な学びを享受

多様なニーズをもった子どもたちが、希望を失わず成長し、共に活躍できる社会を実現するため、多様性を認め、その成長過程に対応できる学校づくりと学びの場を充実をします。

取組の方向性

□ 「多様性を包みこむ学校」への進化！

- 多様性を認め、活かし合う教育の実現のための学校体制の整備。
- 専門家を交えたチーム支援体制を構築し、発達障がいのある児童生徒など多様なニーズがある子どもたちを支援し、共に学び合える教育を実践

・ チームとしての学校相談体制の構築

(教員を中心に多様な専門性を持つスタッフを学校に配置し、学校の教育力、組織力の向上)

・ 早期アセスメント体制の確立

(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、マネジメントリーダー教員を交えたスクリーニング、アセスメントの実施)

・ 授業のユニバーサルデザイン化の推進

・ 多様な学びの場の整備 (通級指導教室、中間教室(市町村教育委員会)の充実)

・ 保護者理解向上のための取組の推進

□ 学びのセーフティネットの構築

○ 子どもたちの居場所と学びを支える学校でも家庭でもない第3の居場所の (サードプレイス) の構築

・ 多様で適切な教育機会の確保

中間教室 (教育支援センター) の充実、NPO等民間団体 (フリースクール) 等との連携強化

・ こどもカフェの充実

○ 外国籍児童等の学びの場の充実

・ 日本語指導教室の充実

・ 県内の日本語教室 (市町村、NPO等設置) と連携した学びの場の充実

○ 子どもの貧困対策

子ども・若者支援に関する総合的な計画の内容と併せて検討中

・ 教育費の負担軽減

○ 自殺対策の推進

次期長野県自殺対策推進計画の内容と併せて検討中

・ 児童生徒の自殺予防に資する教育の実施